

## 2021年9月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月17日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社碧

コード番号 3039 URL <https://www.heki.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役（氏名）金城 智子

問合せ先責任者（役職名）常務取締役（氏名）又吉 日登志 TEL 098-863-1533

中間発行者情報提出予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 —

中間決算補足説明資料作成の有無：無

中間決算説明会の開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年9月中間期の業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

#### (1) 経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期中間期	293	△28.9	△89	—	△92	—	△73	—
2020年9月期中間期	412	△17.7	△14	—	△17	—	△20	—

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期中間期	△124.34	—
2020年9月期中間期	△35.17	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期中間期	1,209	176	14.6	299.31
2020年9月期	1,280	249	19.5	423.66

（参考）自己資本 2021年9月期中間期 176百万円 2020年9月期 249百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	0.00	0.00	0.00
2021年9月期	0.00	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況下では合理的な業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式含む）	2021年9月期中間期	590,000株	2020年9月期	590,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期中間期	—株	2020年9月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	2021年9月期中間期	590,000株	2020年9月期中間期	590,000株

※ 中間決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想など将来予測情報に関する説明	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
4. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間株主資本等変動計算書	8
(4) 中間キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のまん延による影響で低迷していた経済活動が、少しずつ回復へと向かって動き出しておりました。しかしながら、春先にかけて感染状況が悪化したことでこの動きが停滞し、本格的な回復には至っておりません。また、海外に関しましては、わが国以上に感染状況が深刻で、人の往来に依然として強い制限が設けられていることが、企業活動を行う上で大きな障害となっているなど、予断を許さない状況が続いております。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染回避に伴う外食機会の減少、行政の要請に基づく営業時間の短縮、ソーシャルディスタンス（社会的距離）確保のための客席数の削減など、緊急事態宣言解除後も様々な負の影響が継続しております。特に、新型コロナウイルスの感染拡大第3波が顕在化した後、「Go To トラベル」キャンペーンの見直しや各自治体からの飲食店に対する時短営業要請などにより、例年に比して外食需要が大きく減少し、厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社は「お客様と従業員の安全確保」を最優先事項として店舗運営等に取り組んでおります。具体的には、店舗入口にお客様用消毒液を設置するほか、検温やソーシャルディスタンス（社会的距離）を意識した客席配置を徹底すると共に、全従業員に対しては前年以上に検温、マスク着用、アルコール消毒を遵守させることで、お客様及び従業員の安全確保に努めております。また、前年より引き続きテイクアウトやデリバリー、メニューラインアップの増加等に注力しておりますが、新型コロナウイルスの影響が想定以上に大きく、来店客数・客単価ともに低迷しております。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は293,188千円（前年同期比28.9%減）、営業損失は89,600千円（前中間会計期間は14,267千円の営業損失）、経常損失は92,943千円（前中間会計期間は17,225千円の経常損失）、中間純損失は73,363千円（前中間会計期間は20,750千円の中間純損失）となりました。

なお、当社はレストラン事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べ59,906千円減少し、350,810千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少73,681千円、その他に含まれる未収入金の増加6,292千円、売掛金の増加3,797千円、預け金の増加1,339千円、前払費用の増加2,346千円によるものであります。

（固定資産）

当中間会計期間末における固定資産は、前事業年度末と比べ10,867千円減少し、858,757千円となりました。これは主に、減価償却費計上による建物の減少10,657千円、工具、器具及び備品の減少2,128千円、保険積立金の増加1,633千円によるものであります。

（流動負債）

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末と比べ31,122千円増加し、114,428千円となりました。これは主に、一年内返済予定の長期借入金の増加30,000千円、買掛金の増加3,272千円、未払消費税等の増加3,196千円、未払金の減少1,974千円、未払費用の減少1,890千円によるものであります。

（固定負債）

当中間会計期間末における固定負債は、前事業年度末と比べ28,533千円減少し、918,543千円となりました。これは主に、長期借入金の減少30,000千円、退職給付引当金の増加1,467千円によるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ73,363千円減少し、176,595千円となりました。これは、中間純損失の計上による繰越利益剰余金の減少73,363千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して73,681千円減少し、284,380千円となりました。

当中間会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は73,332千円となりました。これは主に、税引前中間純損失73,201千円を計上したことのほか、補助金収入13,966千円、減価償却費13,615千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は349千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出389千円、敷金の差入による支出10千円、敷金の返還による収入50千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金及び使用した資金はありません。

(3) 業績予想など将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月16日の「決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしましたとおり、通期の業績予想は未定とさせていただきます。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症による営業時間短縮要請や外食需要の冷え込みの影響を受け、来店客数・売上高ともに大きく減少したことで、2020年9月期におきましては営業損失148,047千円、当中間会計期間におきましては営業損失89,600千円を計上しております。

また、当社は、2015年7月に完成した新社屋の取得資金をシンジケートローンにより調達しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上減少に伴い、手元流動性確保の必要性が生じたことから、シンジケート団との協議の末、2020年5月29日に条件変更契約を締結いたしました。これにより、2021年4月までの間に到来する弁済日における弁済金額が0円となっておりますが、変更後の条件に従い2021年7月の弁済日より元本返済を再開する予定となっております。

新型コロナウイルス感染症の収束及び外食需要の回復には一定の期間を要するものと考えられることから、営業債務や借入金返済の原資となる売上獲得が見込めず、資金繰り悪化の懸念が生じております。これらにより、当社には継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

なお、詳細に関しましては、後記「4. 中間財務諸表及び主な注記（5）中間財務諸表に関する注記事項（継続企業の前提に関する注記）」に記載のとおりです。

3. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当中間会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,062	284,380
預け金	18,458	19,798
売掛金	5,111	8,908
商品及び製品	1,400	1,459
原材料及び貯蔵品	11,606	11,540
前払費用	5,162	7,509
その他	10,914	17,212
流動資産合計	410,716	350,810
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	402,697	392,040
構築物（純額）	4,397	4,105
車両運搬具（純額）	1,040	867
工具、器具及び備品（純額）	7,489	5,360
土地	353,554	353,554
有形固定資産合計	769,181	755,928
無形固定資産		
電話加入権	28	28
無形固定資産合計	28	28
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
長期貸付金	109	—
保険積立金	43,950	45,584
長期前払費用	336	1,236
敷金・保証金	56,018	55,978
投資その他の資産合計	100,415	102,799
固定資産合計	869,625	858,757
資産合計	1,280,341	1,209,567

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当中間会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,600	14,872
一年内返済予定の長期借入金	15,000	45,000
未払金	13,559	11,584
未払費用	31,713	29,823
未払法人税等	585	292
未払消費税等	2,952	6,148
賞与引当金	5,890	4,915
その他	2,004	1,790
流動負債合計	83,306	114,428
固定負債		
長期借入金	900,000	870,000
退職給付引当金	16,532	17,999
資産除去債務	29,267	29,398
繰延税金負債	1,277	1,146
固定負債合計	947,077	918,543
負債合計	1,030,383	1,032,972

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当中間会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,000	55,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
資本剰余金合計	25,000	25,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	169,958	96,595
利益剰余金合計	169,958	96,595
株主資本合計	249,958	176,595
純資産合計	249,958	176,595
負債純資産合計	1,280,341	1,209,567

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当中間会計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	412,306	293,188
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	1,534	1,400
当期商品仕入高	14,408	10,569
当期製品製造原価	227,864	196,057
合計	243,807	208,026
商品及び製品期末たな卸高	1,542	1,459
商品及び製品売上原価	242,265	206,567
売上総利益	170,041	86,621
販売費及び一般管理費	184,309	176,221
営業損失(△)	△14,267	△89,600
営業外収益		
受取利息	14	0
その他	198	683
営業外収益合計	212	684
営業外費用		
支払利息	2,473	3,506
支払手数料	247	249
その他	449	271
営業外費用合計	3,170	4,027
経常損失(△)	△17,225	△92,943
特別利益		
雇用調整助成金	—	4,109
緊急雇用安定助成金	—	1,407
営業時間短縮協力金	—	14,050
頑張る事業者応援給付金	—	200
特別利益合計	—	19,767
特別損失		
固定資産除却損	—	25
特別損失合計	—	25
税引前中間純損失(△)	△17,225	△73,201
法人税、住民税及び事業税	293	292
法人税等調整額	3,231	△130
法人税等合計	3,525	161
中間純損失(△)	△20,750	△73,363

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主 資本 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	55,000	25,000	25,000	327,831	327,831	407,831	407,831
当中間期変動額							
中間純損失(△)				△20,750	△20,750	△20,750	△20,750
当中間期変動額 合計	—	—	—	△20,750	△20,750	△20,750	△20,750
当中間期末残高	55,000	25,000	25,000	307,080	307,080	387,080	387,080

当中間会計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主 資本 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	55,000	25,000	25,000	169,958	169,958	249,958	249,958
当中間期変動額							
中間純損失(△)				△73,363	△73,363	△73,363	△73,363
当中間期変動額 合計	—	—	—	△73,363	△73,363	△73,363	△73,363
当中間期末残高	55,000	25,000	25,000	96,595	96,595	176,595	176,595

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当中間会計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△17,225	△73,201
減価償却費	15,473	13,615
緊急雇用安定助成金	—	△1,407
雇用調整助成金	—	△4,109
営業時間短縮協力金	—	△14,050
頑張る事業者応援給付金	—	△200
固定資産除却損	—	25
退職給付引当金の増減額(△は減少)	243	1,467
賞与引当金の増減額(△は減少)	△380	△974
受取利息及び受取配当金	△14	0
支払利息	2,473	3,506
売上債権の増減額(△は増加)	740	△3,797
たな卸資産の増減額(△は増加)	285	6
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,525	3,272
未払費用の増減額(△は減少)	△2,719	△1,907
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,696	3,196
未払金の増減額(△は減少)	△2,558	△1,974
その他	428	△6,690
小計	2,917	△83,224
利息及び配当金の受取額	14	0
利息の支払額	△2,523	△3,489
補助金収入	—	13,966
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	4,942	△585
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,350	△73,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△225	△389
敷金の差入による支出	—	△10
敷金の返還による収入	4,214	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,988	△349

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当中間会計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30,000	—
リース債務の返済による支出	△962	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,962	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21,623	△73,681
現金及び現金同等物の期首残高	225,651	358,062
現金及び現金同等物の中間期末残高	204,028	284,380

(5) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、新型コロナウイルス感染症による営業時間短縮要請や外食需要の冷え込みの影響を受け、来店客数・売上高ともに大きく減少したことで、2020年9月期におきましては営業損失148,047千円、当中間会計期間におきましては営業損失89,600千円を計上しております。

また、当社は、2015年7月に完成した新社屋の取得資金をシンジケートローンにより調達しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上減少に伴い、手元流動性確保の必要性が生じたことから、シンジケート団との協議の末、2020年5月29日に条件変更契約を締結いたしました。これにより、2021年4月までの間に到来する弁済日における弁済金額が0円となっておりますが、変更後の条件に従い2021年7月の弁済日より元本返済を再開する予定となっております。

新型コロナウイルス感染症の収束及び外食需要の回復には一定の期間を要するものと考えられることから、営業債務や借入金返済の原資となる売上獲得が見込めず、資金繰り悪化の懸念が生じております。これらにより、当社には継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

当該事象に対応するべく、鉄板焼ステーキレストラン「碧」事業部においては、主力商品の大幅な変更はないものの、リーズナブルな価格帯のランチメニューやサイドメニューのラインアップ増加を図るとともに季節に合ったイベントの企画、実施により新規顧客の開拓につなげております。

また、しゃぶしゃぶの専門店「紺」事業部においては、主力商品の大幅な変更はないものの、鮮魚メニューやテイクアウトメニュー、デリバリーへ注力することで幅広い顧客ニーズに対応するとともに、季節に合ったイベントの企画、実施により新規顧客の開拓につなげております。

さらに、シンジケート団に対してシンジケートローンの2度目の条件変更契約の申し入れを行っております。

しかし、鉄板焼ステーキレストラン「碧」、しゃぶしゃぶ「紺」の両事業部で取り組んでいる対応策の効果の発現については実施途上にあることや、シンジケートローンの2度目の条件変更契約の申し入れについては、シンジケート団と協議中であることから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められません。

なお、中間財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を中間財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、レストラン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、日本政府及び自治体からの外出自粛要請を受けて、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止すべく2021年4月23日及び5月7日に発令された緊急事態宣言に準じて、沖縄県外の直営店舗である「鉄板焼ステーキレストラン碧 銀座三越店」は5月6日から5月11日までの間臨時休業し、4月12日から5月5日及び5月12日から5月31日までの間、営業時間を午後8時までに短縮しております。同じく沖縄県外の直営店舗である「鉄板焼ステーキレストラン碧 うめきた店」は4月25日から5月31日までの間、臨時休業することを決定いたしました。また、沖縄県へは「まん延防止等重点措置」が適用され、沖縄県からの営業時間短縮要請により、沖縄県内の直営4店舗である「鉄板焼ステーキレストラン碧 東町本店」、「鉄板焼ステーキレストラン碧 国際通り松尾店」、「しゃぶしゃぶ紺 東町本店」、「しゃぶしゃぶ紺 おもろまち店」は、4月12日から5月31日までの間、営業時間を午後8時までに短縮しております。なお、店舗休業及び営業時間短縮による当社業績への影響は現在未定であります。